

董枝明教授を偲ぶ

董枝明教授のご逝去の報を受け、大変驚くと共に大変悲しいと同時に董教授から教えていただいた事や、一緒に歩いたフィールドの数々などを思い出します。

私が初めて董教授とお会いしたのは、1989年10月で北京のIVPPの董教授の研究室でした。訪問の目的は1989年に福井県で発掘した恐竜化石のレプリカを持参し鑑定してもらう事でした。研究室にはフィリップ・カリー博士もおられて二人で丁寧に見てもらいました。これ以降、董教授には中国の標本の観察や文献の提供など本当に親身に接していただきました。それから、董教授の提案で1992年から1993年、日中共同調査として「シルクロード恐竜化石調査」を新疆ウイグル自治区の砂漠地帯で行いました。また、1996年から1999年にかけて中国、モンゴル、日本による三国調査を実施しました。これら全て董教授のご提案・ご指導のもとに行われたものです。大変貴重な体験をさせていただきました。もちろん、董教授には何回も福井に来ていただき、発掘にも参加いただきご指導を受けました。

董教授はアジア地域の恐竜研究にも関心を持たれ、アジア恐竜協会（Asia Dinosaur Association : ADA）設立に協力するよう何度も言われ2013年福井県立恐竜博物館において設立会合がもたれ、設立記念式典が催されました。

董教授におかれては、長い間精力的な活動をされました。これからは安らかにお休みください。

2024年10月22日

東 洋一
アジア恐竜協会理事長
福井県立大学名誉教授
福井県立恐竜博物館名誉顧問



タイ国ナコーン・ラチャシーマの恐竜化石発掘現場にて
右：故ル・ジュンチャン博士、中央：董枝明教授、左：筆者